

## ストライキの目的は「格差ベア永久的根絶」? 産経新聞「JR東労組、スト検討」を報じる

産経新聞2月12日の1面トップに「JR東労組、スト検討」と派手な文字が躍った。記事では、2月6日に行われた団体交渉で、JR東労組は組合員の「一律定額ベア」の将来にわたる実施などを要求し、会社側が否定的な見解を示したため、その場で「スト権行使を含めたあらゆる戦術行使に必要な手続きに入る」と通告したというものである。



JR連合やイースト・ユニオンは、ストを否定するわけではないが、ストライキは労使紛争の最終的な手段であり、公共交通機関であるJR東日本でのストライキについて、国民の皆さんから、その目的について理解が得られるかどうかである。

JR東労組は、ストの目的を「一律定額ベア」の将来にわたる実施で「格差ベア永久的根絶」だという。国民の理解が得られるとは到底思われない。また、本当にそれだけかと、懐疑的に感じる者も多くあるのではない。

記事では、平成22年、JR東労組で強力な影響力を持っていた松崎明元委員長が死去し、JR東労組の弱体化が進んでいるとも指摘されており、JRの労組問題に詳しいノンフィクションライターの西岡研介さんは、「会社側は対応を見直しており、労使関係は転換期にある。強硬な姿勢を貫くことで組織防衛を図るのが本当の狙いではないか」と指摘する、と記載されている。そして、「思い通りにならないからストをするのであれば、これまでの安定経営を支えてもらった利用者への裏切りだ」とのジェイアール・イーストユニオン秋山中央執行副委員長のコメントも掲載された。



JR東労組は昨年春闘に向けた「全組合員によるスト権確立の意思確認の一票投票」で、82.3%の賛成を得たとしている。一年前のスト権確立の使いまわし?は如何とは思いますが、あなたの一票が、今回のストライキ権行使の検討の根拠になっているのは確かである。

### 良識ある皆さん! 今こそ目を覚まそう!